

快晴の 餓鬼岳～唐沢岳～東沢岳登山

2011.9.23～25 K氏と

9/23 (祭) シャクナゲ荘駐車場 5:50～6:20 餓鬼岳白沢登山口 6:40～9:20 最終水場(昼食) 10:00～12:15 大風山(2079M) 12:30～16:05 餓鬼岳小屋(泊)
9/24 (土) 6:05～6:10 餓鬼岳(2647M。日本二百名山) 6:25～7:40 餓鬼のコブ(2508M) 7:45～9:50 唐沢岳(2632M) 10:50～14:15 餓鬼岳小屋(泊)
9/25 (日) 5:55～9:30 東沢岳(2497M) 9:55～10:30 東沢乗越 10:40～11:30 西大ホラ沢出合(昼食) 12:15～13:30 ブナ平 13:40～14:50 中房温泉 16:00～バス～16:50 シャクナゲ荘 16:55～17:15 白沢登山口 17:20～17:35 自宅

9/23。 昨年からのK氏との約束の山行計画であるが、K氏が地区の役員で休日が空かない、私は仕事で休日をはさまないと3連休は取りづらい。と言う訳で今年は8/21～23に予定したが、天候悪く延期になっていました。台風一過の好天に恵まれました。天候不順の年で私の山行計画は7/3～4の北岳以降全て中止。それ以来の山行となりました。夏山の最盛期の2ヶ月以上登山できないと言う、こんな年は珍しいです。そんな訳で嬉しくてワクワクしながらの山行でした。帰りのバス下車後のために、K氏の車をシャクナゲ荘に置くべきシャクナゲ荘での集合となった。好天の3連休とあって登山者が多かった。私の車で白沢登山口へ。すでに10台近く駐車していた。大雨後なので、登山道の状態が心配だ。(念のために、ロープを30M持参)今日は小屋までコースタイム6:30なのでユックリ歩く。

魚止めの滝



最終水場で昼食



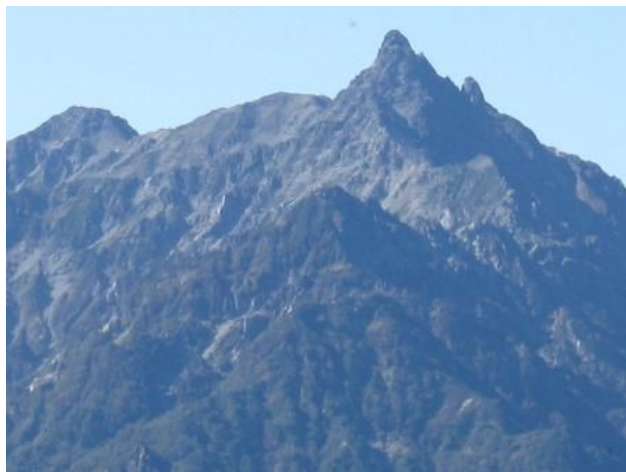
紅葉の滝、魚止めの滝など紅葉期が良さそうな沢沿いの落葉樹林帯の登山道を登る。けっして歩き易いとは言えない登山道だが渡渉箇所には必ず木橋が掛けられている。途中単独行2人が下山してきた。私も50代までに2回餓鬼岳の日帰り登山をしたが、今考えると我ながら健脚だったと思う。10人位に追い抜かれた。体力低下のこれからの登山はコースタイムでは歩けないし、追い抜かれる事が多くなると思う。小屋の到着時には雪が少しパラツイタ。小屋が小さいので混むのが心配だったが、何とか、布団1つに1人となった。20人位の団体ツアーもあり、40人くらいの泊り客で満員状態。小さなプレハブ小屋が2棟あり、我々はそこに入った。

9/24。昨夜から冷え込んだ。マイナス4度C位まで。テント泊の人達が、「前の晩に作った食材や水が凍っていた。」と話していた。(唐沢岳への途中の岩に50CM位のツララがあった)その代わり素晴らしい登山日和になった。まずはすぐ近くの餓鬼岳山頂へ。

剣、立山、大日岳、手前は唐沢岳



槍～北穂を望む



鹿島槍ヶ岳～穂高までがクッキリ展望できる。勿論富士山も。これから向かう唐沢岳も。登山道は細くシャクナゲや熊笹などが覆っている。北海道のような登山道だ。だが、迷うような事も無い。登山道脇のクロマメノキ(浅間ブドー)を食べながら歩く。食べ頃だ。

剣、別山、立山



槍～前穂間一望



針の木、剣、立山



剣岳の勇姿



唐沢岳を往復してから白沢口へ下山する健脚者もいた。唐沢岳からの展望は素晴らしい。眼下に大町ダム～七倉ダム湖。鹿島槍ヶ岳～蓮華岳～針の木岳～剣岳～立山～大日岳～裏銀の山々～槍ヶ岳は小槍も見える。大満足。今日は 15 名位が唐沢岳を往復した。有名になったものだ。（昔は餓鬼岳でさえ訪れる登山者はマレだった。北アルプス最後の「ランプの小屋」として、アルプスを歩き尽くした登山者が脚を伸ばす山だった。ましてや枝別れでドンズマリの唐沢岳などは）ユックリ歩いて小屋へ戻りベンチで酒を飲みテント泊の若者と歓談する。今日の宿泊は 30 名位。小屋に泊まる人達は夕食の片付けが済まないで布団に入れないし、朝は 4:30 に布団を片付けて朝食会場になる。談話室もないので、何かと窮屈だ。今日の我がプレハブは昨日は 6 名だったが今日は 5 名なので入り口が空いた。昨日は私が入り口だったので、トイレのたびに目が覚めた。

9/25。 今日午前中は快晴。東沢岳まで昨日同様、大展望を楽しみながらの歩行。

東沢岳から裏銀座方面。中央は高瀬ダム



単独行、若者、夫婦者が多い。女性の単独行やテント泊もいる。ただこの山域には「山ガール」は少ない。（中房温泉には燕岳組で多かった）東沢乗越から沢沿いに中房温泉へ下る。渡渉が 5 回ほどあるが（この登山道には橋が 1 箇所しか無い）水量も落ち着いてきたので問題無し。普通に歩けば 14:15 のバスに間に合うがユックリ下山で 16:00 の最終バスまで 1 時間以上の待ち時間となった。中房温泉は登山者、入浴客で賑わっていた。登山バスもほぼ満員だった。このコースは息

子が中学生の時の夏休みに学校の先生と 3 人で歩いたが、天候が悪くて展望が無かった。それにしても私より 5 歳年上の K 氏はお元気だ。こんな歩きにくいコースをちゃんと歩くのだから。脱帽です。お疲れ様でした。思い出に残る良い山行でした。

東沢乗越の分岐



中房温泉に下山



＊仕事で行く「広津地区」は高台なので、餓鬼岳～餓鬼のコブ～唐沢岳間が横長に展望できます。登山前は「あすこを近い内に歩くのだ。と。ここ数日は「あそこを縦走したのだ」と眺めています。